

# 命を守るために 私たちができること



岳南広域消防組合 中野消防署  
救急救命士 竹田章さん

目の前で人が倒れた―現場に居合わせた私たちが、命を守るためにできることは何でしょうか。岳南広域消防組合 中野消防署に勤務する救急救命士の竹田章さんにお話を伺いました。

## 119番通報

「突然倒れたり、反応がない人を見たら、ただちに心停止を疑ってください。心停止の可能性を認識したら、応援を呼び、119番通報を行ってください。通報の判断に迷った場合も、まずは119番通報を行い、指示に従ってください。また、通報の際は、状態が確認できるように倒れた方のそばで電話してください。」

## 一次救命処置

「救急車が到着するまでに一次救命処置を行った場合は、救命率が高くなります。また、3分以上心臓が停止してしまうと脳にダメージを受けてしまいます。心停止を確認したら、ただちに心肺蘇生法を行ってください。」

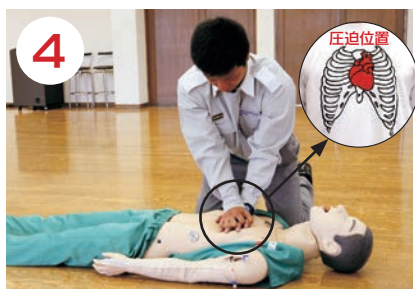
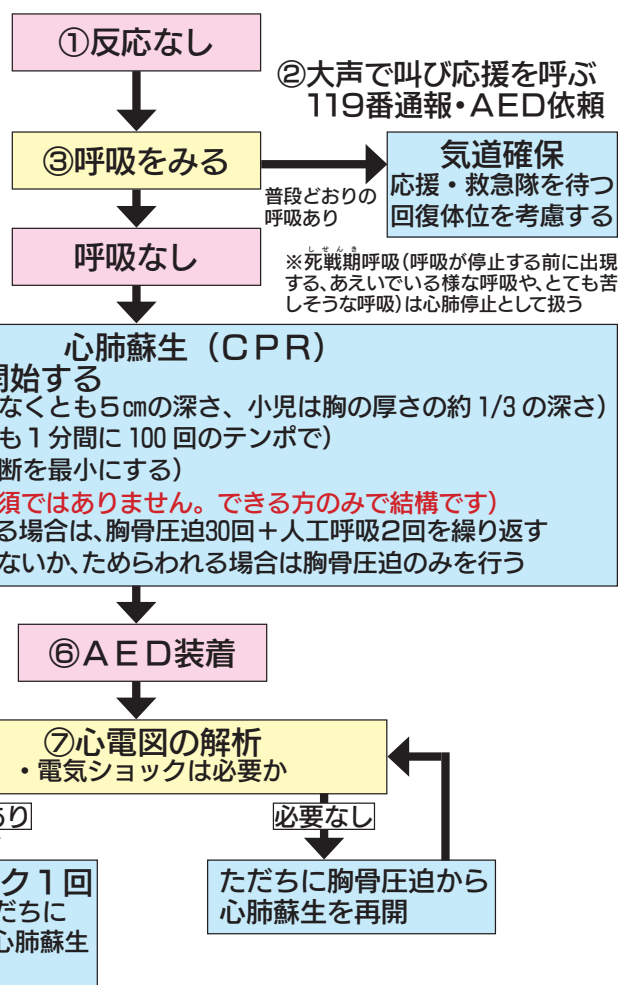
## AEDの使用

「心停止の場合は、心肺蘇生法と併せてAEDを使用することでの回復の確率が高まります。AEDは機械が操作方法をアナウンスしてくれるので、どなたでも使用できます。また、AEDの電流は必要な方以外には流れませんのでご安心ください。」

## 救命講習会

「市民の皆さんに救命のお手伝いをしていただくため、岳南広域消防本部では、定期的に救命講習会を開催しています。大勢の皆さんの受講をお待ちしています。また、講師の派遣も行っていますので、お気軽にご相談ください。」

## 救命処置の手順 (心肺蘇生法とAEDの使用)



両手を組み、胸の真ん中を圧迫します。合言葉は「強く、早く、絶え間なく」



AEDのアナウンスで電気ショックが必要な時は、ボタンを押して通電する。

救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に呼吸や目的のあるしぐさが認められるまで心肺蘇生を続ける

# 救命士の日



24時間勤務、  
3交替制です。

8:25



引き継ぎ・交代

8:30



車両点検  
ライト・回転灯が点灯する  
か確認します。



無線テスト

9:00



資器材点検・整備  
出動に備え、資器材の不具合がないか点検します。



執務  
救急の報告書の作成などの事務のほか、救急講習、想定訓練などを行います。指令があれば、すぐに出動します。

12:00

昼休憩

13:00

執務



17:00

夕食準備

18:00



夕食  
夕食と朝食は職員が自炊しています。

19:00

執務

23:00



仮眠  
1時間交代で指令室勤務をしながら、順番に仮眠を取ります。いつでも出動できるように活動服を着たまま眠ります。

6:00



起床・朝食準備・掃除

6:30

朝食



7:00

執務

8:25



引き継ぎ・交代  
当直勤務が終了。非番となりますが、災害などで招集が掛ければすぐに駆け付けられるようにします。次の日は公休です。



1  
両肩をたたきながら大声で呼び掛け、反応を確認する。



2  
周囲の人を集め、119番通報とAEDの手配をお願いする。



3  
胸や腹部の動きを見て呼吸を確認する。



5  
傷病者の気道を確保したまま鼻をつまみ、空気が漏れないように1秒かけて息を吹き込む。(できる方のみ)



6  
体が濡れていたらタオルなどで拭き取り、胸の右上および左下側に電極パッドを装着する。胸骨圧迫は休まず行う。



7  
パッド装着後、自動で心電図の解析が始まります。解析中は傷病者の体には触れない。